



京放技ニュース

12/2019
(通算 715号)

発行：(公社)京都府放射線技師会 TEL&FAX 075-802-0082 E-mail: kyohogi@mbox.kyoto-inet.or.jp
ホームページアドレス <http://www.kyohogi.jp/>

〒604-8472 京都市中京区西ノ京北壺井町 88-1 二条プラザ

振込郵便口座 01070-3-11019

ゆうちょ銀行 店名(店番) 109 当座 0011019 シャ)キョウトフホウシャセンギシカイ

公益
社団法人 京都府放射線技師会

今後求められること

公益社団法人 京都府放射線技師会副会長 原口 隆志

この京放技ニュースが発行される頃にはすっかり寒くなっているかと思われませんが、つい先日まで台風が猛威を振るい、中々暑さが緩まなかったような思いがございました。台風などで被害を受けた皆様にはお見舞い申し上げます。

さて、5月に平成から令和に代わり、そして令和元年が過ぎさる12月でございますが、会員の皆様におかれましては相変わらずの季節感がない状況で忙しく業務にあたっておられるかと思えます。

昨年にも申しましたが、少子高齢社会の中でいよいよ団塊の世代が後期高齢者の仲間入りをする2025年を迎えようとしています。今後も医療を取巻く環境は大きく変化してきており、私たち医療人一人一人がどうすれば「時代が求める技師(医療人)」になれるのかは大きな課題となるかと思われまます。環境の変化の中でも注目すべきは、人工頭脳(AI)の進歩であります。活動計、心拍数計、歩数計などのウェアラブルデバイスとして、リストバンド、時計、アクセサリなどの形で広く使われだしているのはご承知のところ、さらに医療機器にも利用されているのが現状であります。さらに、コンピュータが人類を超える「2045年問題」が言われており、医療人の存在意義そのものも問われる時代がやってくるのではないかと危惧する向きもある。そのような人たちは、これまでは人間にしかできないだろうと思われていた仕事が、ロボットなどの機械に取って代われようとしているのではないかと考えている。勿論、その様な悲観的な考えではなく、IBMが開発した「ワトソン」のように、人の能力を何倍にも拡充して診断を確実にし、治療ミスも防ぐ等の働きをしてくれる医療者フレンドリーなロボットが望まれます。そのためには、医療人は何を期待されているのか、医療の現場で何が起きているのか、医療画像提供体制はどこへ向かっているのか、病院の存在意義は、夫々の医療人の存在意義は等について十分に考えて、これからの方向性を明らかにし、AIや進歩との協調を図っていく必要があるかと思われまます。医療とは医療提供者、医療の利用者、医療政策決定者の三者より成立しているとお聞きしましたが、それらの視点で物事を考えるのが妥当と思われ、そのような形で医療を取巻く環境の変化を認識し、問題点を明らかにしてその対応を検討していかなければなりません、これほどの大きな変化に対するには、単なるこれまでの延長線上で物事を考えるだけでは難しく、「パラダイムシフト」が不可欠と思われる。病院組織、医療人のありかた、病院が行う医療の中身等について私たち医療従事者も上層部任せでなく共に考え、“これから求められる医療人”の姿を明らかにしていくことが重要であると考えています。

今後、働き方改革とタスク・シフティング(業務移管)の推進や、診療用放射線に係る安全管理体制に関する規程の施行等医療安全を担保すべく取り組んでいくべき事項を進めながら、さらに業務拡大も考慮しながら、研修や交流会に取り組み、皆様と研鑽・情報共有していきたいと思っています。

ちなみに、「パラダイムシフト」とは、ある時代・集団を支配する考え方が、非連続的・劇的に変化すること。社会の規範や価値観が変わること。らしいです。私もついていけるよう会員の皆様と頑張っていきたいと思しますので、宜しく願いいたします。

令和 2・3 年度会長・副会長選挙に関する告示

令和元年 12月 1日

会員各位

公益社団法人 京都府放射線技師会 選挙管理委員会
委員長 中村 泰典

1. 令和 2・3 年度役員選挙に関する告示により届け出のあったのは、下記のとおりです。

(1) 有権者 20 名以上の推薦する者 なし

(2) 理事会の推薦する者

① 会長候補者 河本 勲則 昭和 34 年 7 月 24 日生

*勤務先 京都第二赤十字病院

*会務歴

I) 平成 10 年度～平成 11 年度まで 地区理事

II) 平成 12 年度～平成 17 年度まで 編集常務理事

III) 平成 18 年度～平成 27 年度まで 副会長

IV) 平成 28 年度～平成 31 年度 会長

② 副会長候補者 久保田 裕一 昭和 44 年 9 月 23 日生

*勤務先 関西医科大学附属病院

*会務歴

I) 平成 10 年度～平成 13 年度まで 地区理事

II) 平成 16 年度～平成 27 年度まで 組織調査常務理事

III) 平成 28 年度～平成 31 年度 副会長

2. 候補者がそれぞれ単数であるため、役員選任規程第 2 章第 10 条により信任投票とします。

上記の候補者について、下記の要領に従って期日までに全会員漏れなく投票して下さい。

記

(1) 指定投票用紙（本誌 12 月号ニュース同封のハガキ）で必ず投票して下さい。

(2) 投票欄に信任：○印、不信任：×印のいずれかを記入して下さい。

(3) 投票は無記名です。

(4) 所定以外の用紙による投票は無効とします。

(5) 投票締切日は令和元年 12 月 31 日(火) 必着とします。

以上

野球大会報告

厚生委員会 中川 稔章

第 66 回近畿地域診療放射線技師会野球大会は 10 月 22 日(祝) 開催予定でしたが、雨天のため中止となりました。また来年度よろしくお願いたします。

次期会長候補者及び次期副会長候補者の推薦について

公益社団法人 京都府放射線技師会理事会

本理事会は令和元年10月5日開催の令和元年度第6回理事会において、次期会長候補に現会長 河本 勲則氏を、次期副会長候補に現副会長 久保田 裕一氏をそれぞれ推薦することを満場一致で決議いたしました。

公益社団法人 京都府放射線技師会理事会 次期会長候補者河本 勲則氏・副会長候補者久保田 裕一氏は、京都府放射線技師会の会務を熟知しており、毎月のように行われる定例研修会、生涯教育、業務拡大に伴う統一講習会の開催に精力的に取り組んでいる。また公益社団法人に相応しい事業推進として府民公開講座も開催している。昨年は当会創立70周年記念式典を挙行し京都府、京都市から来賓を招き、多くの参列者のもと成功裏に終えた。

会長及び副会長に就任した4年間では、京都府下の診療放射線技師の業務環境や地位向上を目的に監督官庁へ何度も足を運び統一講習会の受講状況、医療法一部改正や医師業務のタスクシフトについて診療放射線技師の取り組みを説明し理解を求めた。さらに、京都府の原子力総合防災訓練等に積極的に会員を派遣し、災害時の要請に備えている。技師会のリーダーとして幾多の事業を推進してきた実績は顕著である。

河本 勲則氏は平成10年度から11年度まで地区理事、平成12年度から17年度まで編集理事、平成18年度から27年度まで副会長、平成28年度から会長職を歴任。その役歴・活動内容は枚挙にいとまが無い。優れた指導力・思考力に行動力も兼ね備え、人物としても明朗である。本会の会長職として京都府放射線技師会のさらなる発展を託せる人物である。

久保田 裕一氏は、平成10年度より地区理事、平成16年度から平成27年度まで常務理事、平成28年度から副会長を歴任し、その責務を十二分に果たされ、人柄は誠実かつ冷静沈着である。地区及び組織調査理事を長年経験し会員の要望を汲んだ事業を継続し組織をまとめてきた実績は会長の補佐役、相談役として副会長候補者にふさわしい人物である。

今後、当会のより一層の発展と診療放射線技師の地位向上に全力で臨んで頂けるものと確信し、理事会一同は満場一致で次期会長候補者に河本 勲則氏、次期副会長候補者に久保田 裕一氏を推薦する。

令和元年度近畿地域診療放射線技師会学術大会

日程 令和2年2月9日(日)

場所 京都府民総合交流プラザ 京都テルサ

- | | |
|---------|---|
| 教育講演 | : 公益社団法人日本診療放射線技師会副会長 佐野 幹夫 |
| 府民公開講座 | : 「元気に楽しく生きよう」～食べて延ばそう健康寿命～
京都医療センター栄養管理室 西田 博樹
京都医療センター臨床研究センター
内分泌代謝高血圧研究部 浅原 哲子 |
| 特別講演 | : 「医療安全を法的視点から考える」
～診療放射線技師が医療現場で遭遇する事前、事後の対処法～
北浜法律事務所 弁護士 長谷部 圭司 |
| シンポジウム | : 「技師教育について」 |
| 一般演題 | : 自由演題 |
| 女性活躍推進班 | : 「出産前後どうしてはりましたか?」～産休・育休・復職について～ |
| その他 | : 国際セッション、読影分科会講演、骨撮影分科会講演、
管理士会部会講演、ランチオンセミナー、線量管理ソフト展示 |

理事会推薦をお受けして

河本 勲則

令和 2、3 年度役員選挙会長候補に理事会推薦を頂き立候補することになりました、京都第二赤十字病院の河本 勲則と申します。

会長として 2 期 4 年が経過しました。4 年間を顧みますと京放技の事業推進は執行部の協力と各理事の活発な行動力により、新しい事業にも対応できました。業務拡大に伴う統一講習会は、当初の目標 100%には到達していませんが、11 月末で 450 名を超え、75%以上の会員が受講されていますことから、行政の信頼も得られたかと考えています。また昨年は、創立 70 周年記念行事を挙行し、成功裏に終わられましたことは、京放技会員のご協力の賜物であると感謝申し上げます。令和 2 年には、近畿地域診療放射線技師会学術大会を京都で開催しますので、会員の皆様の参加協力をお願いします。

次期会長として、診療放射線技師の地位向上の為に行政へ業務拡大や医療法改正に伴う被ばく管理、記録業務での診療放射線技師の適応性を伝えていきたいと思えます。また、臨床検査技師会や他団体の研修会へ講師を派遣し、診療放射線技師業務への理解を求めます。今年度から開催しています、新人技師のための臨床セミナーも新人教育の一環として継続していきます。さらには、医療業務のタスクシフトにつながる研修会も企画したいと思っています。

公益社団法人京都府放射線技師会のさらなる発展と診療放射線技師の地位向上に微力な私ではございますが、臥薪嘗胆に活動したいと存じます。会員の皆様のご支援とご理解を何とぞお願い申し上げます。

副会長（副代表理事）候補を受けて

久保田 裕一

この度、公益社団法人京都府放射線技師会の理事会において、副会長候補者としてご推薦を賜りました、関西医科大学附属病院の久保田裕一です。副会長に就任して 2 期 4 年となります。当会は昨年度、創立 70 周年を迎えることが出来ました。また記念式典及び祝賀会を平成 30 年 10 月 24 日に京都ブライトンホテルにて挙行いたしました。多くの方々から祝福をいただきました事、このような機会に企画から立ち会えた事を感謝しております。

京都府放射線技師会は、令和元年度に開催します近畿地域診療放射線技師会学術大会の当番県として、令和初の大会の成功に向けて、現在は役員一同で準備に取り組んでいます。令和 2 年 2 月 9 日に京都テルサで開催されます学術大会へ、多くの会員が参加される事を願っております。

また平成 27 年から始まった「業務拡大に伴う統一講習会」は、河本会長が積極的に取り組み、京都府下で多くの開催を実施し、多くの受講を達成することが出来ました。京都府の受講率は全国でもトップクラスです。スタッフのご協力に感謝するとともに講習会を受講する必要があると理解して頂いたことに安堵しております。年明けには、地方開催として最後になります講習会を京都第二赤十字病院で開催を予定していますので、未受講の方は是非とも受講を再考してください。

私は、技師会を通じて多くの先輩や後輩の方々と出会い、多くの知識や情報を与えてもらいました。これら全てが私の技師としての財産です。技師会は診療放射線技師にとって唯一の職能団体です。私たちがこの免許の価値を高めていかなければなりません。それは診療放射線技師の未来への投資でもあります。引き続き、私にもそのお手伝いをさせてください。国民から認められる診療放射線技師の未来、会員の皆様から信頼される会の発展へ真摯に取り組みたいと思っています。よろしく申し上げます。

第7回理事会報告

令和元年 11月 9日

議長に中川総理事、書記に橋岡理事を選任し、午後4時半より議事開始

I. 経過報告及び計画に関する件**1) 経過報告および計画 河本会長**

(経過報告)

- 10月13・14日 第1、2回医療放射線安全管理責任者講習会 (世界貿易センタービル)
- 10月22日 近畿地域診療放射線技師会野球大会 (中止) (浜甲子園運動公園)
- 10月27日 第46回くらしと健康展 (京都府医師会館)
- 10月30日 令和元年度中間監査 (京放技事務所)
- 11月1日 令和元年度近畿地域診療放射線技師会学術大会第7回実行委員会 (京放技事務所)
- 11月3日 あすの京都地域創生フェスタ (京都府立植物園)
- 11月9日 令和元年度第7回理事会 (京放技会議室)
- 11月10日 令和元年度学遊会 (MK ボウル上賀茂)
- 11月15日 京都私立病院協会創立55周年記念式典 (京都ホテルオークラ)
- 11月19日 令和元年度近畿地域診療放射線技師会学術大会第8回実行委員会会場視察 (京都テルサ)
- 11月30日 京都府原子力防災訓練 (京丹波町)
- 12月1日 医療安全全国フォーラム2019 (京都テルサ)
- 12月7日 令和元年度第8回理事会 (京放技会議室)
- 1月11日 令和元年度第9回理事会 (京放技会議室)
- 1月19日 令和元年度近畿地域診療放射線技師会囲碁大会 (大阪府医師会館)
- 2月1日 令和元年度第10回理事会 (京放技会議室)
- 2月8日 令和元年度近畿地域診療放射線技師会第2回会長、副会長会議 (京都第二赤十字病院)
- 2月9日 令和元年度近畿地域診療放射線技師会学術大会 (京都テルサ)
- 3月7日 令和元年度第11回理事会 (京放技会議室)
- 4月4日 令和元年度期末監査 (京放技事務所)

2) 各委員会報告及び計画**【庶務】皿谷理事**

- ・会員数 10月31日現在 640名 (先月+25)
- (内訳) 名誉会員5名、正会員611名、賛助会員24社
- 令和元年度新入会累計88名 (再入会9名含む、転入会含まず)
- ・10月14・16・20・21・28・30日庶務委員会開催(京放技事務所)
- ・対外文書76件、発刊文書5件 (10月1~31日)
- ・新卒入会12名、新入会12名、再入会1名を承認

【財務】渡里理事

- ・会費納入状況 (令和元年8月末日現在)
- 令和元年度会費納入者406名、平成30年度会費未納者6名
- ・96.5万円 (10月) の歳入
- ・事業費317,691円、管理費131,392円の歳出 (10月)
- ・10月1・25・30・31日財務委員会開催 (京放技事務所)
- ・委員会にて使用するキーボード購入を承認。

【学術】後藤理事

- ・臨床セミナー開催 (エーザイ京都支店)
- 10月9日 京大病院における急性期脳梗塞のCT検査 小澤 聡 (会員39名 非会員17名 合計56名)
- 10月23日 乳腺MRI 基礎から最近の知見まで 佐川 肇 (会員27名 非会員18名 合計45名)
- 11月6日 症例から考える撮影条件 松田 晃 (会員27名 非会員16名 合計43名)
- ・11月1日 近畿学術大会第6回実行委員会開催 (技師会事務所)
- ・11月3・4日 業務拡大に伴う統一講習会開催 (京都医療センター)
- ・臨床セミナー開催予定 (エーザイ京都支店)
- 11月20日 女性骨盤のMR検査 長尾 泰輔
- ・11月19日 近畿学術大会現地視察予定 (京都テルサ)
- ・1月12・13日 業務拡大に伴う統一講習会開催予定 (京都第二赤十字病院)

令和2年

- ・2月9日 令和元年度近畿地域診療放射線技師会学術大会開催予定 (京都テルサ)
- ・近畿学術大会で各地区から1演題ずつ提出を要望。

【編集】中島理事

- ・10月15日 11月号ニュース編集 (田辺中央病院)
- ・10月24日 11月号ニュース校了
- ・10月27日 くらしと健康展出務 (京都府医師会館)
- ・11月6日 封筒印刷発注
- ・11月18日 12月号ニュース編集予定 (田辺中央病院)

【広報・渉外】新井理事

- ・10月26日 第46回くらしと健康展設営・準備 (京都府医師会館)
- ・10月27日 第46回くらしと健康展出務・撤収 (京都府医師会館)
- ・11月20日 第46回くらしと健康展実行委員会開催予定 (京都府医師会館)
- ・11月26日 第1回広報・渉外委員会開催予定 (宇治徳洲会病院)
- ・12月中 府民公開講座の案内・広報活動予定
- ・12月中 令和2年度 広報・渉外事業計画案/予算案提出予定

【組織調査】蒲理事

- ・10月29日 厚生、組織調査合同委員会開催 (京放技事務所)
- ・11月1日 学術大会第7回実行委員会出席 (京放技事務所)
- ・11月10日 第9回学遊会開催予定 (MK ボウル上賀茂)

【厚生】中川総理事

- ・10月22日 近畿地域診療放射線技師会野球大会 (雨天中止)
- ・10月29日 組織・調査、厚生合同委員会開催 (京放技事務所)
- ・11月10日 第9回学遊会開催予定 (MK ボウル上賀茂)

【情報】大西理事

- ・10月20日 学遊会の申し込みの確認 (1名)
- ・10月25日 ホームページのトップページ更新
- ・10月27日 近畿地域診療放射線技師会学術大会の演題登録状況の確認及び後藤理事、三浦理事と演題登録状況の共有
- ・10月29日 学遊会の申し込みの確認と蒲理事と登録状況の共有
- ・10月30日 ホームページのトップページ更新
- ・11月7日 ホームページのトップページ更新

【管理士】山根理事

- ・10月27日 くらしと健康展へ放射線相談サポートとして管理士会から2名参加 (京都府医師会館)
- ・11月11日 原子力災害研修会参加予定 (舞鶴市)
- ・11月14日 原子力災害避難地域訓練研修会参加予定 (パルスプラザ)
- ・11月15日 第3回京都府原子力総合防災訓練会議予定 (京丹波町)
- ・11月30日 京都府原子力防災訓練参加予定 (京丹波町)
- ・11月15日 第3回京都府原子力総合防災訓練会議予定 (京丹波町)
- ・11月30日 京都府原子力防災訓練参加予定 (京丹波町)

【両丹学術】橋岡理事

- ・10月29日 勤続30年表彰対象者2名に申請用依頼書提出依頼
- ・11月8日 近畿学術大会実行委員会出席 (京放技事務所)
- ・11月30日 両丹地区秋季研修会 (ZIO/VINCENT ハンズオン) (市立福知山市民病院)

【受賞者選考委員会】河本会長

- ・10月31日 勤続30年表彰対象者10名、50年2名の履歴書が届きました。日放技への申請書類を作成。

II. 地区経過報告及び計画に関する件**【北地区】河野理事**

- ・10月22・28日 イベント案内をメール配信

【中地区】楢理事

- ・10月14日 日本診療放射線技師会の診療用放射線の安全利用のための指針策定に関するガイドラインについて、を配信
- ・10月18日 台風19号に伴う会員被害調査について、を配信
- ・10月20日 学遊会の参加案内のメールと、滋賀県放射線技師会からの謝罪メールを配信
- ・10月30日 勤続表彰者への連絡メールを配信
- ・丸太町病院の地区委員交代に関する連絡
- ・11月3~6日 地区委員会開催の調整連絡
- ・11月4日 近畿学術大会要員の件で地区委員に再連絡
- ・11月12日 地区委員会開催予定
- ・地区委員の退職に伴い交代を承認
- 坂井栄智 (丸太町病院) → 幸坂育歩 (丸太町病院)

【東地区】中川政幸理事

- ・10月7日 超音波検査講習会の参加についてメール配信
- ・10月10日 臨床セミナーについてメール配信
- ・10月16日 台風19号に伴う会員被害調査についてメール配信
- ・10月23日 臨床セミナーについてメール配信
- ・10月24日 演題募集についてメール配信
- ・10月25日 30年勤続表彰、学遊会についてメール配信
- ・11月15日 臨床セミナーについてメール配信

【西地区】平井理事 (庶務理事代読)

- ・10月4日 診療放射線技術基礎講習会超音波案内送信
- ・10月28日 西地区メールにて学遊会参加申し込み案内再送信
- ・11月1日 近畿地域学術大会実行委員会参加 (京放技事務所)
- ・地区委員会を開催し、班編成を検討予定
- ・民医連中央病院の西地区への移転に伴い班編成の再検討報告予定

【南地区】三浦理事

- ・10月16日 台風19号に伴う会員被害調査について を配信
- ・10月22日 学遊会のご案内を配信
- ・11月28日 南地区委員会を開催 (京都岡本記念病院)

【両丹地区】平林理事

- ・各施設へ京放技からの連絡をメールにて連絡
- ・11月30日 秋季研修会開催予定 (市立福知山市民病院)

【西南部地区】松本理事

- ・10月30日 学遊会参加者募集をメールにて送信
- ・11月中に地区委員会開催予定

III. その他**1) 中間監査報告 (武部監事)**

武部監事より令和元年度中間監査報告が報告された。

2) 近畿学術大会実行委員会進捗状況報告 (後藤理事)

近畿学術大会実行委員会の進捗状況が報告された。

3) 技師会旗新調 (久保田副会長)

京放技ロゴマーク変更に伴い技師会旗の新調が承認された。

以上、各議案について採択し承認された。(文責：橋岡)

求人のお知らせ

中京区の病院にて常勤の募集があります。
また、南区の病院にてパートの募集があります。
詳しくは京放技事務所までお問い合わせください。

編集後記

当院では骨粗鬆リエゾンサービスを始めることとなり、放射線科からのメンバーとして小生が指名された。骨粗鬆リエゾンサービスには学会も存在し、認定試験もある。今後、日本で普及する制度だと思っています。高齢者が増えるに従い、転倒による脊椎圧迫骨折・大腿骨頸部骨折を起こした患者が増加しているが、骨粗鬆が原因となっていることが多い。が、骨折が完治すると病院に通わなくなり、骨粗鬆の治療が行われないまま、次の骨折を起こす。高齢者は入院・治療で寝たきり期間が長くなると認知症が進行し、転倒を起こす確率がさらに増える、という悪循環に陥る。そこで転倒骨折を起こした方、骨粗鬆症の方を対象に骨粗鬆リエゾンサービスを提供することになる。普段は患者の自宅近所の医院で骨粗鬆症のための薬剤を処方してもらい、リハビリを行い、半年に一度程度、総合病院で骨密度や血液を検査する、という取り組みである。なぜ、自宅近所の医院なのかといえば、総合病院では待ち時間が長く、薬の処方のためのために通院するのは患者にとっても病院にとっても都合が悪いからである。リエゾンとは「連絡係」の意味で、多職種が一人の患者を対象に連携し将来の骨折予防を行う、ことである。認定試験対象者には診療放射線技師はもちろん、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、リハビリ系職種、社会福祉士等が含まれる。まさに多職種連携の精度である。医院での処方内容を総合病院で指定するので、地域の医療施設との連携もきちんと行わなければならない。チーム医療と言われて久しいが、今後はそのチームの枠が施設を超えて広がっていき、地域レベルでの医療提供になっていくのを実感した次第です。

編集委員会 中島智也

▶ 12月以降の京放技活動

令和2年

1月12・13日(日月祝) 業務拡大に伴う統一講習会 京都第二赤十字病院

2月9日(日) 令和元年度近畿地域診療放射線技師会学術大会 京都テルサ

▶ 12月以降の京都府以外での近隣講習会

12月1日(日) 基礎技術講習「MRI検査」 滋賀県ピアザ淡海

12月21・22日(土日) 業務拡大に伴う統一講習会 兵庫県立加古川医療センター

令和2年

1月25・26日(土日) マネジメント研修会(西会場) ホテルフクラシア大阪ベイ

会 員 異 動

【新卒入会】 12名

山本 帆乃佳 大阪医科大学附属病院(西南1) 他11名

【新入会】 12名

大西 達也 京都南病院(中3)

中山 智晶 向日回生病院(西3) 他10名

【再入会】 1名